

# 週報

## WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club



RIテーマ  
ロータリー：  
変化をもたらす

第17回例会記録(通算第 2748 回)

平成 29(2017)年11月27日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「手に手つないで」

来訪者紹介

林 明様(熊本江南 RC)



林 明様(熊本江南 RC)の月間テーマ卓話「R財団 グローバル補助金について」より

国際ロータリー第 2720 地区

## 熊本南ロータリークラブ

2017-2018 年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

例会日：毎週月曜日 12:30~13:30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日(承認昭和 33 年 11 月 24 日)

会 長：今村 浩昭 / 幹事 玉田 光識 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



[今日]  
例 会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 年次総会・年忘れ家族会

[今月/来月]  
行 事

- 1/5 熊本市域 RC 新春合同例会  
@ホテルキャッスル
- 1/9 新年会@松葉
- 1/27 2018-19 地区補助金管理セミナー@ホルトホール大分

[www.kumamoto-southrc.org](http://www.kumamoto-southrc.org)

### 会長報告 (今村浩昭君)

皆さま、こんにちは。本日の卓話は、月間テーマ卓話としまして、地区 R 財団委員の熊本江南 RC 林 明様にお越しいただきました。後ほどよろしくお願いたします。

まず、先週水曜、熊本江南 RC の例会へ熊本まちあかりのご報告及びお願いのため訪問いたしました。今週は今日が熊本西稜 RC、明日は熊本西 RC へ訪問予定です。内容は山角ガバナー補佐を通して各クラブへ伝えてありますので、その後それぞれのクラブで決定されることとなります。当クラブも本日例会終了後の臨時理事会にて協議、決定したいと思います。

さて、先週 11/25 (土) に公益社団法人くまもと被害者支援センター主催イベント「生命のメッセージ展 in くまもと」に参加いたしました。内容は不幸な事故や

事件でなくなった方々を偲ぶ会で、当クラブのイベントにも参加いただいたことのある大林由紀さんがアベマリアとアメージンググレイスを弾き語りされました。その後、遺族の方の講演があったのですが、大変重い内容で、遺族の方々の悲しみや憤りは何年経過しようとも癒えないことがよく伝わるお話でした。

### 臨時理事会報告 (今村浩昭君)

1. 熊本まちあかりについて  
⇒スマイル会計より 5 万円寄付することが承認されました。
2. 公益社団法人くまもと被害者支援センターへの支援について  
⇒年間 1 万円の寄付が承認されました。  
(2018/4 より)

## 幹事報告(玉田光識君)

- 1.例会終了後「臨時理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。
- 2.例会、臨時理事会終了後「第4回 60周年実行委員会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。
- 3.来週(12/4)例会は「年次総会・年忘れ家族会」に振替のため17:30～に時間変更いたします。(家族会18:00～)ご注意ください。尚、家族会の出欠回答が未提出の方は至急返信をお願いいたします。

## 例会変更のお知らせ

○菊南 RC～親睦会のため日程場所変更

[変更前] 12月6日(水)12:30～

[変更後] 12月3日(日)14:00～

[場 所] 熊本県総合体育館

○りんどう RC～昼例会に時間変更

[変更前] 12月7日(木)19:00～

[変更後] 12月7日(木)13:00～

○05福祉 RC～清掃活動のため時間場所変更

[変更前] 12月12日(火)12:30～

[変更後] 12月12日(火)7:00～

[場 所] 県総合運動公園

○江南 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月13日(水)18:30～

[変更後] 12月13日(水)18:00～

○城東 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月18日(月)12:30～

[変更後] 12月18日(月)18:30～

○西稜 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月18日(月)18:30～

○東 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月19日(火)12:30～

[変更後] 12月19日(火)18:00～

○西 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月19日(火)12:30～

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月19日(火)12:30～

○水前寺公園 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月20日(水)12:30～

[変更後] 12月20日(水)18:30～

○東南 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月20日(水)12:30～

[変更後] 12月20日(水)18:30～

○平成 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月20日(水)12:30～

[変更後] 12月20日(水)19:00～

○りんどう RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月21日(木)13:00～

[変更後] 12月21日(木)19:00～

○西 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 12月26日(火)12:30～

[変更後] 12月26日(火)18:30～

[場 所] ロシア料理「ボルガ」

○05福祉 RC～親睦会のため時間変更

[変更前] 12月26日(火)12:30～

[変更後] 12月26日(火)18:00～

○江南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月27日(水)12:30～

○菊南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月27日(水)12:30～

○水前寺公園 RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月27日(水)18:30～

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月28日(木)13:00～

○りんどう RC～新春合同例会に振替のため日程場所変更

[変更前] 1月4日(木)19:00～

[変更後] 1月5日(金)12:30～

[場 所] ホテルキャッスル

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 1月11日(木)13:00～

## 出席報告(金井昌道君)

会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
64名	40名	65.57%	83.05%
出席規定適用免除者 4名			欠席記録免除者 1名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

## 委員会報告

### ●親睦活動委員会(桑原幸雄君)



皆さま、こんにちは。玉田幹事からも報告がございましたが、来週12/4(月)18:00より「年忘れ家族会」を開催いたします。今回は和菓子職人の片岡圭助様にお越しいただき、和菓子づくりの実演&体験を企画しました。出欠回答がまだの方は早めの返信をよろしくをお願いいたします。

## ■60周年実行委員会報告（漆島典和君）

皆さま、こんにちは。本日例会終了後、第4回 60周年実行委員会を開催いたします。関係各位はご参加をよろしくお願いいたします。また、年明けてからになります。各クラブへご案内のキャラバンを実施予定です。副実行委員長の北口 誠会員、副実行委員長補佐の坂本幸樹会員よりお声掛けがあるかと思っておりますので、皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ●スマイルボックス(山下洋一郎君)

○今村浩昭君・齊藤直信君・玉田光識君・告坂和紀君  
杉光定則君

本日の卓話 林 明様のご来訪を心より歓迎いたします。ロータリー財団の勉強をさせていただきます。

○漆島典和君・原 裕一君

本日の卓話者 熊本江南 RC の林 明様に心から感謝いたします。

○永井富士雄君

先週 11/20 は、職業奉仕委員会の第 1 回職場訪問で株式会社ツカサ創研様を訪問させていただきました。出席された皆さん、ご苦労さまでした。研修では湊田俊郎会員のロータリアンとしての行動指針が明確に示され、従業員全員で実践されている職業奉仕に大変勉強になりました。

○寿崎 肇君

11/20 から東京でのロータリー研究会に出席しました。慶應義塾大学の富田勝先生のお話は、蜘蛛の糸の太さで鉄鋼より強い糸の開発のお話で、大変勉強になりました。ロータリーに籍を置いていただいていることに感謝します。

○塚本 侃君

先週金曜の夜、弁護士会の主催で叙勲の祝賀会を開催していただきました。その際、ホテル日航熊本さんに大変お世話になりましたのでスマイルします。

○原 裕一君

久しぶりのホーム例会出席です。出席が悪く、お詫びのスマイルです。

○河津延雄君

来週の年次総会・年忘れ家族会は出張のため欠席します。お詫びのスマイルです。

## ●月間テーマ卓話（杉光定則君）

「R 財団 グローバル補助金について」

林 明様（第 2720 地区 R 財団委員/熊本江南 RC）



②

地区補助金支給基準

条件	備考
① 地区補助金管理セミナーに参加すること	毎年1月又は2月
② 地区とMOUを締結すること	会長エレクト・フミニーに署名が必要
③ ロータリー財団の使命に沿った事業であること	職業状態の改善・教育・親善促進 ロータリアンが積極的に関与すること
④ 番号と登録の条件に沿っていること	R財団が定めた運用規定 ハンドブックP12
⑤ 補助金額が前年度の平均以内であること	
⑥ クラブの過去3年度の総付金付録に応じて上限がある（寄付のクラブは無資格）	総額の事業をする場合はどちらかに収まること
⑦ 申請書類は各クラブ1事業とする	
⑧ 算出した補助金の千円未満は切り捨て	151,200円の増減15,000円となる
⑨ 地区R財団補助金審議・監査委員会にて議論・決定・レギュラーミーティングの修正確認をします	

③

補助金活用に関する注意事項（ハンドブックP12）  
標榜と受領の条件 R受領資格の指針（8項目の中の重要2項目）

- ロータリー財団の使命に関連していること。  
ロータリー財団の使命とは、ロータリアンが職業状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解親善、平和を達成できるようにすることです。
- ロータリアンが積極的に関与すること。  
ロータリアンが、奉仕プロジェクトに直接参加し、汗を流し、知恵を絞って活動すること。  
寄付金中心の事業より、我々ロータリアンが自ら企画実施する事業がより望ましい

④

Rotary

補助金を使える事業例

補助金を活用するには活動内容がR財団の使命に関連しているか、ロータリアンが積極的に参加しているか等、受領資格の指針があります。しかし、今までは人道的プログラム、あるいは環境保全プロジェクトに限定されていましたが、新たに教育的プログラム等が加わり、非常に利用しやすくなりました。次にあげる例は過去に当地区で認められたものも含め補助金の利用可能なプロジェクトです。ご参考にしてクラブで取り組んで下さい。

- 農産物販売会の通学自転車寄贈
- 図書館の役に立つ物品の寄贈
- 障がい者いす・ふれあい支援駅伝大会
- 職業訓練になるプロジェクト
- 水源養老林の植樹
- 職業センターや学校へパソコン寄贈
- 河川の下水処理清掃
- 失業者のためのパソコン教室支援
- 水路整備等の環境美化
- スポーツ大会の主産
- 市民憩いの場植樹
- ホスピスでのコンサート主催
- 外国への譲り上げ支援・図書寄贈

## 【例会予定】

12/11 外部卓話 河野文夫様

（九州中央リハビリテーション学院長）

12/18 定款に基づき休会

12/25 外部卓話 荒木正博様

（熊本日日新聞社 編集局長）

## ◆RI ニュース（国際ロータリーHP より）

従来の紙の報告書から、迅速かつ正確な携帯電話のテキストメッセージへ

携帯電話で簡単にできるテキストメッセージは、ポリオ撲滅活動を成功させるカギとなるかもしれません。かつて世界中に広がっていたポリオの発症は、現在 3 カ国の一部地域に限られています。今後は、保健従事者が迅速にワクチンを提供し、情報を共有していくことが重要となります。ロータリーが主要パートナーとなっている世界ポリオ撲滅推進活動では、連絡を強化するため、パキスタンとナイジェリアの保健従事者に携帯電話が支給されています。そこでは、1つのテキストメッセージが人の命を救うこともあります。パキスタンでは、予防接種データを含む母子健康報告書を、従来の紙から携帯電話と電子モニタリングに移行で

きるよう、地元のロータリー会員が尽力しています。ロータリーの協力により、パキスタン政府、通信事業の Telenor 社、データ管理の Eycon 社が、パキスタンの保健従事者に携帯電話 800 台以上を支給しました。今後、2018 年までに 合計 5,000 台を支給する予定です。保健従事者はテキストメッセージを中央サーバーに送信でき、ポリオ発症の疑いがある場合は、即座にパキスタン国立緊急センターに連絡できます。また、予防接種を受けていない子ども、拒否する保護者の有無、予防接種の実施範囲も報告します。同国では、5 歳未満の児童 35 万人にポリオ予防接種を行うことを目指しています。世界保健機関 (WHO) の危機管理責任者、ミシェル・シーレン氏は、携帯電話の支給により、リアルタイムで情報を入手し、簡単にモニタリングできると話します。「携帯電話のおかげでポリオ撲滅活動は大きな進展を遂げています。綿密なデータをリアルタイムで記録し、すぐに共有できるので、正確さと有効性を高めることができます。これにより、政府やポリオ撲滅活動のリーダーたちも、必要な意思決定を戦略的に行えます」

#### ポリオを超えて

保健従事者は、携帯電話を使用して母子の健康に関するデータも管理しています。ユニセフによると、パキスタンの児童死亡率は世界でも非常に高く、出生数 1000 件あたりの 5 才未満の児童死亡数は 81 件です。しかし、携帯やインターネットなどのテクノロジーでこの数を減らせると、パキスタン・ポリオプラス委員会のロータリー会員、アッシャー・アリ氏は話します。「地域社会の助産婦を含め、保健従事者は妊婦の経過を追跡しています。子どもが生まれると、健康記録を入力し、ポリオだけでなく、他のワクチンや保健・衛生上のニーズも記録されます」。これにより、マラリア、結核、インフルエンザのような感染症や、子どもの栄養不良や母体の健康状態もモニターできます。「乳児や母親に問題がある場合は、保健センターに情報をすぐに送信することで、迅速な対応が可能になる」とアリ氏。保健従事者がテキストメッセージで次の訪問日を予告できる、という面でも役立っています。

#### 携帯電話の拡散

携帯電話の数は急上昇しています。世界で約 70 億人がもち、そのうち 89% は発展途上国で使用されています (WHO 調べ)。また、1 日の生活費が 1 ドル未満の人でも、電話やテキストメッセージができるようになっています。発展途上国において、携帯電話はどのテクノロジーよりも多く使用されています。ロータリーやその他の非営利団体でも、健康への取り組みを向上させるため、携帯電話を活用しています。グラミン財団の「モバイル助産婦プログラム」では、妊婦

へテキスト (毎日) とボイスメール (週 1 回) を送信し、妊娠中、そして子どもが 1 才になるまで、母親にアドバイスを提供します。ユニセフでも同様のサポートを提供しており、妊娠中、そして子どもが 2 歳になるまで、栄養面のアドバイスを行っています。携帯電話は、アフリカの HIV/エイズとの闘いでも大きな力となっています。英国の非営利団体「Absolute Return for Kids」では、テキストメッセージで、薬と診察予約日の情報を患者に連絡しています。ウガンダの保健省の mTrac プログラムは、UNICEF や他団体と連携したモバイル・データ収集ネットワークであり、より大規模に携帯電話を活用しています。そこでは、約 3700 の保健所で働く 3 万人の保健従事者が、携帯電話で週次レポートの提出、アンケートへの回答、連絡事項の受信を行っています。2015 年、Caduceus ロータリークラブ (インド) は、デジタルツールを用いて医療プロジェクトを支援しました。このプロジェクトは、8000 人以上に口腔衛生、高血圧、糖尿病の検査を行うもので、クラブは、コンピューターで感染症の動向を監視するツールを作りました。これにより、政府職員は 2、3 回クリックするだけで、簡単に最新データを入手できるようになりました。2016 年、2 年ぶりにナイジェリアでポリオ症例が出た直後、ロータリーと WHO 職員は、現地のボルノ州北部で、従来の紙の報告方法に代わる携帯電話システムの報告方法を導入しました。この取り組みは、11 以上の州に拡大しています。ナイジェリア・ポリオプラス委員会のボニフェイス・イゴムさんは、次のように話します。「従来の紙の報告書では不正確な情報が含まれる場合があり、深刻な状況を見落とす危険性もありました。しかし、携帯電話のお陰で、迅速に問題を把握し、対応できるようになりました」ナイジェリアでは、今年はまだポリオの発症が確認されていません。また、ナイジェリアでは、予防接種が行われていない地域を特定するために、携帯電話で利用できる地図機能を活用しています。保健従事者は、遠隔地から来た子どもの便をサンプルとして試験し、急性弛緩性の麻痺についてレポートを記録します。イゴムさんによると、この取り組みはボルノ州で始まり、現在 3 つの州に拡大しているそうです。ナイジェリアでは、今年に入って 1000 人以上が髄膜炎で死亡しているのですが、その後、国の緊急予防接種の取り組みで、同じデジタルツールが使用されるようになりました。「携帯電話やインターネットのテクノロジーは、これまで出来なかったことを可能にし、最終的にはポリオを撲滅する助けとなる」と、イゴム氏。「今ほど、このテクノロジーが必要不可欠であるときはありません」